

原稿執筆に際しての注意点

1. 図表の内容は、略号 (m/z 等) 以外は化合物・溶媒名等も含め、日本語で作成する。
2. 図や表の番号とタイトルとの間は、ドットを記入せず全角で1文字分を空ける。
(誤) 図 1. 構造式 → (正) 図 1 構造式
(誤) 表 1. 周期表 → (正) 表 1 周期表
3. 本文中では化合物名、方法名などは日本語で表記し、英語表記が必要な場合は丸括弧内に全て小文字で記す。
(例) 液体クロマトグラフィー (liquid chromatography, LC)
質量分析 (mass spectrometry, MS)
クエン酸 (citric acid)
4. 略号は基本的には全体を大文字、固有名詞は第1文字のみ大文字とする。
 - ・ポリテトラフルオロエチレン (polytetrafluoroethylene, PTFE)
 - ・カークランド (Kirkland)
5. 本文中における式の記載方法は、以下の通りとする。
(正) $A + B = C$ (1)
(誤) $A + B = C$ 式 1
(誤) $A + B = C$ 式(1)
但し、本文中で引用する場合は、(1) 式や式 (1) ではなく、式 1 とする。
6. 物理定数を示すアルファベットは斜体とする。
(誤) pK_a → (正) pK_a
(誤) N, W, R → (正) N, W, R
7. 数字と単位の間は半角空けて記述する。
(誤) 254nm → (正) 254 nm
(誤) pH2.5 → (正) pH 2.5
8. pH や pK_a の値にはイコール (=) を使用せず、半角を空けて数字を記入する。
(誤) pH=2.5 → (正) pH 2.5
9. m/z の表記においては、 m と z は斜体にし、 z と数値との間は半角を空ける。
(誤) m/z 254 → (正) m/z 254
(誤) $m/z=254$ → (正) m/z 254
(誤) $m/z254$ → (正) m/z 254
10. カラムの表記法は、カラム名 (内径、長さ; 粒子径) とする。
(例) Sunflower ODS (内径 4.6 mm、長さ 100 mm; 粒子径 3 μ m)

11. 移動相の組成表記法は、溶媒 A / 溶媒 B (40 / 60, v / v) の体裁とし、スラッシュの前後は半角スペースを空ける。
12. 混合溶媒の記載順序は、使用モードにおける強溶媒 / 弱溶媒の順とする。
(逆相分配クロマトグラフィーでは) アセトニトリル / 水 (30 / 70, v / v)
(順相分配クロマトグラフィーでは) 水 / アセトニトリル (20 / 80, v / v)
13. pH 緩衝液の表記法は、濃度と緩衝液名をこの順序で記載し、続けてカッコの中に pH 値を記載する。
(誤) 0.1 mol/L pH7.0 リン酸緩衝液
(正) 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液 (pH 7.0)
14. 少ない数を数える場合も漢数字ではなく、アラビア数字で表記する。
(誤) みかんを一個 → (正) みかんを 1 個
(誤) タコ八匹 → (正) タコ 8 匹

(2022 年 6 月 22 日 文責 : 中村 洋)